

全庁を挙げた取組がスタート!

全国で初めて県行政の全般にユニバーサルデザインを導入する取組がいよいよ始まりました。ユニバーサルデザイン室やユニバーサルデザイン推進本部を設置する組織づくり、行動計画の策定、職員向けの研修会や県民向け講習会、土木や建築分野での検討など、全庁を挙げた取組が一斉にスタートを切りました。

「ユニバーサルデザイン室」設置

ユニバーサルデザインの全庁的な進捗管理を行うため、県の総合的な施策を立案する専任の担当理事と企画部に5名の室員からなるユニバーサルデザイン室を設置しました。

「ユニバーサルデザイン推進本部」設置

ユニバーサルデザインを全庁的に取り組むための庁内組織として、知事を本部長とする「ユニバーサルデザイン推進本部」を設置しました。

パンフレット

「しずおかユニバーサルデザイン」作成

ユニバーサルデザインに取り組む背景や代表的な事例を写真やイラストで分かりやすく紹介したパンフレットを、日本語版、英語版、点字版で作成しました。



「しずおかユニバーサルデザイン・シンポジウム」開催

ユニバーサルデザインの理念を県民に広く理解してもらうため、“広げようしずおかユニバーサルデザイン”をテーマに、シンポジウムを開催しました。3月にはこのシンポジウムの内容を中心にしたユニバーサルデザインの県広報番組が制作され放送されています。

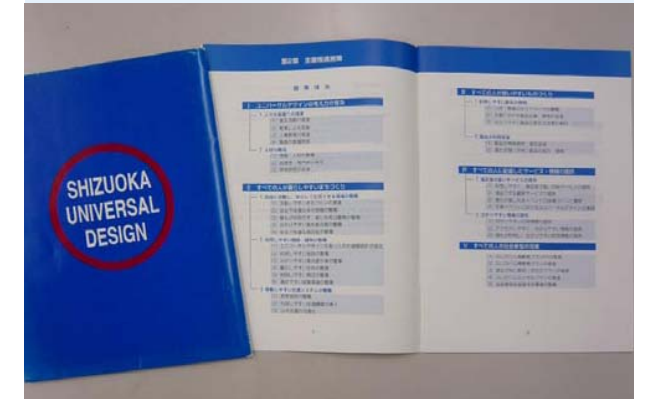


「しずおかユニバーサルデザイン懇話会」開催

県のユニバーサルデザイン施策のあり方や推進方策等について県内外の有識者を構成員とする懇話会を設置しました。検討内容は提言として知事に報告されました。(座長 上島清介 社会福祉法人静岡社会福祉協議会会長 委員16人)

「しずおかユニバーサルデザイン行動計画」策定

「しずおかユニバーサルデザイン懇話会」の提言や県民からの意見や要望を反映し、ユニバーサルデザイン施策の方向性を示す行動計画を策定しました。計画期間は平成12年度から平成16年度までの5年間としました。



「富士山こどもの国」開園(4月)

子どもから大人まで誰もが楽しめるよう、様々な人の意見や要望を取り入れて施設整備を行いました。主要園路の勾配は5%以下、園内全体の施設案内として、触って分かるよう立体的な絵文字を使った案内表示や他目的トイレを整備しています。また、施設内の段差解消や、受付カウンターには車いす利用者が使いやすいようローカウンターも設置されました。



スロープカーと階段、移動方法が選べる



触って分かる案内

行動元年!「しずおかユニバーサルデザイン行動計画」

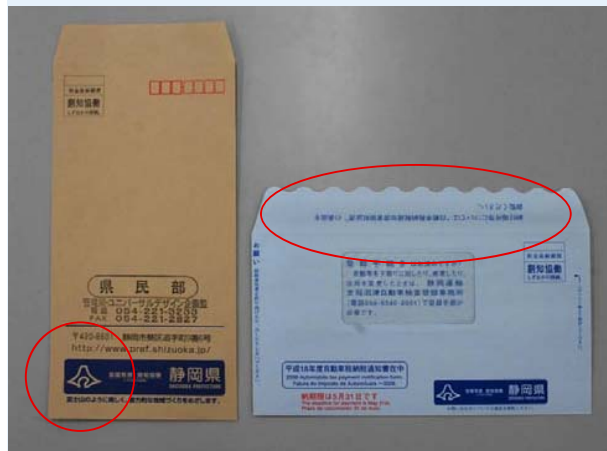
「しずおかユニバーサルデザイン行動計画」に基づく施策事業がスタートしました。県内市町村にもユニバーサルデザインに取り組む動きが現れてきました。

「しずおかUDネットワーク」の構築

ユニバーサルデザインに取り組む人材のネットワーク化を進めるため「しずおかUDネットワーク」を構築し、ユニバーサルデザインの情報紙「しずおかUDネットワーク通信」を発行しました。現在ではメールマガジンで最新の情報やシンポジウム、講演会の情報などを定期的に配信しています。

「公用封筒」のユニバーサルデザイン化

視覚に障害のある人から、県からの郵便物だと分かるような工夫してほしいという声があり、公用封筒の改善に取り組みました。ユニバーサルデザインの発想で、県章部分の浮き出し処理や糊付け部分に波型のカットを入れ、視覚に障害のある人だけでなく、高齢者や外国人などにも県からの封筒であることが分かるようにしました。



「ユニバーサルデザイン研究委託事業」実施

ユニバーサルデザインの研究振興を目的に、研究委託事業を募集しました。県内外から45件の応募があり、審査の結果「ユニバーサルデザインによるサインの仕組みの研究」や「自治体ホームページのユニバーサルデザイン」など6件が採択されました。



温泉・風呂・木造建築の木材を利用した改装プランづくり

「しずおかユニバーサルデザイン専門委員会」開催

県の施策、事業への助言や提言、情報提供を行う12人の委員からなる委員会を設置しました。「アイデアコンクール審査部会」「研究評価部会」を設置し、アイデアコンクールの審査・研究委託の評価や専門講座の講師など、それぞれの専門を活かし、ユニバーサルデザインの推進のため、活動しました。(委員長 山本肇 静岡文化財団副理事長 委員12人)

部局横断的テーマの検討会開催

ユニバーサルデザインは県民生活の幅広い分野に関係することから、複数の部局を構成委員とした検討会を開催しました。12年度以降も継続的に実施しています。

<部局横断的に取り組む特定テーマ>

- 「分かりやすいパンフレットや資料づくり」
- 「分かりやすいサインや利用しやすい窓口サービス」
- 「利用しやすい県有施設」…県有施設のユニバーサルデザイン点検を実施
- 「タウンモビリティを活用したまちづくり」…モデル地区の選定や具体化計画の策定
- 「市町村への取組促進」



「静岡文化芸術大学」開学(4月)

4月13日、新しい時代の要請に応えられる創造性と実践力を持った人材の育成を目指し、ユニバーサルデザインを教育理念の一つに掲げて浜松市に開学しました。音声で誘導する案内サインや段差を解消するスロープの設置など、ユニバーサルデザインに配慮した教育環境が整備されました。



「浜松市ユニバーサルデザイン室」設置(4月)

4月、市町村では全国で初めて、浜松市が都市計画課内にユニバーサルデザイン室を設置しました。

ユニバーサルデザインへ、関心の高まりを実感

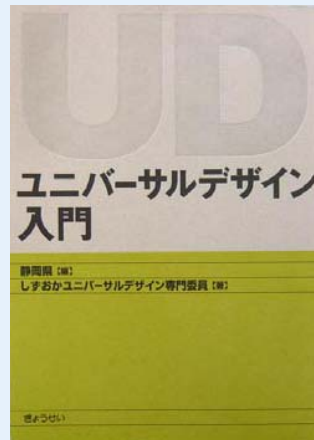
平成13年度に実施した調査では、県民のユニバーサルデザインの認識率は、12年度の46.2%から60%に上昇しました。また、ホームページのアクセス件数も対前年度比170%の増加となるなど、ユニバーサルデザインへの関心の高まりを実感できるようになりました。

「第1回ユニバーサルデザイン全国大会」開催

ユニバーサルデザインの取組を全国に向けて発信するため「ユニバーサルデザイン全国大会」を開催しました。全国から自治体、企業、団体の関係者約1,000人が参加し、基調講演や事例発表、分科会、県有施設の視察調査等が行われました。運営には、県内のNPOやボランティアで組織する「第1回ユニバーサルデザイン全国大会推進協議会」が会場案内や受付などを担当し、全国からの参加者を“心のユニバーサルデザイン”でお迎えしました。静岡県から始まった全国大会は、埼玉県、神戸市、熊本県へと引き継がれ、平成22年度には、佐賀県での開催が予定されています。



1月24・25日 浜松市



「ユニバーサルデザイン入門」(静岡県編)出版

平成12,13年度に開催した「しずおかユニバーサルデザイン専門講座」の内容をまとめた書籍を発行しました。読み物形式で幅広い分野のユニバーサルデザイン論を掲載しています。

「ユニバーサルデザイン推進自治体連絡会議」開催

ユニバーサルデザインに取り組んでいる全国の自治体に呼びかけ、県庁で情報交換、意見交換を行いました。北海道、福島県など9道県が参加し、その後、全国各地で定期的に開催されています。
(平成13年度 参加自治体:北海道、福島県、埼玉県、新潟県、富山県、滋賀県、広島県、熊本県、静岡県)

「しずおかユニバーサルデザイン推進協議会」発足

全国大会の運営に参画したNPOやボランティア団体のメンバーが中心となり組織されました。県や地元市町村と協働でユニバーサルデザインを広めるためのイベントの企画や運営に当たるなど、地域での普及活動を行っています。
(会長 内田宏康 NPO法人 浜松福祉のまちづくり市民ネットワーク)



<部局横断的に取り組む特定テーマ>

- 「サイン計画の研究」
- 「イベントガイドラインの策定」
…ユニバーサルデザインの考えを取り入れたイベントマニュアルの作成
- 「将来を担う若い世代への普及啓発」
…ユニバーサルデザインの学校教育への反映方法を検討
- 「ホームページのユニバーサルデザイン化」
- 「障害者という言葉の研究」
…障害者という言葉の適切な表現の方向性を検討

「2001年しずおか緑・花・祭」開催(4月)

会場では、車いすやベビーカーの貸し出しサービスをはじめ、おむつ換えのできるベビールームや介助を必要とする人の着替えができるユニバーサルルームを設置するなど、ユニバーサルデザインに配慮して開催されました。



スタッフのユニバーサルデザインユニフォーム



ユニバーサルデザインを暮らしの中へ

県民が暮らしの中でユニバーサルデザインを実感するには、公共施設や道路、歩道等へのユニバーサルデザインの導入とともに、企業や団体等が事業活動にユニバーサルデザインを導入することが必要です。事業者の取組を促進するため、産業別に導入方法や実践事例を紹介するアイデア・ヒント集を作成しました。

「第1回しずおかユニバーサルデザイン大会」開催

県と県内のNPOやボランティア団体等々で結成する“しずおかユニバーサルデザイン推進協議会”が協働で開催しました。

「こどもと考えるユニバーサルデザイン」をテーマに、小学校の取組事例発表やユニバーサルデザイン大賞入賞作品の発表、シドニーパラリンピック金メダリストの成田真由美さんらによるパネルトークを開催しました。



アイデア・ヒント集「みんなが喜ぶ店づくり」作成

小規模な事業者が多い小売業を対象に作成しました。個店向けに店舗の段差を解消するためのアイデアや、商店街には買い物の途中で休めるベンチやトイレの設置など、写真やイラストを交えて紹介しています。発行後、県内をはじめ、全国規模で店舗を展開する百貨店やスーパーなどからも資料請求がありました。

「教員用マニュアル」発行

小・中学校の教師用向けのマニュアルを作成しました。また、インターネットを活用し、教師がホームページから参考事例などをダウンロードして授業で使えるよう、県のホームページでも公開しています。

「国際ユニバーサルデザイン会議2002」で発表

行政機関としては唯一、「行政分野へのユニバーサルデザインの推進」と題して、これまでの静岡県の取組を論文発表しました。行政が幅広い分野で取り組んでいることに海外の研究者から注目が集まりました。



11月30日～12月4日 横浜市

<部局横断的に取り組むテーマ>

「事業者への取組誘導」

「地域サイン計画」

「子どもへの普及」

「園芸が持つ福祉機能の発揮」

「ユニバーサルデザイン実践マニュアルによるイベントの開催」

県立総合病院のサイン整備

モデル施設として既存施設のサイン計画を検討・整備し、その調査経過をガイドラインにまとめました。利用者からは「受付や診療科への案内サインやトイレの場所が分かりやすくなった」という声が寄せられました。

「沼津駅北口駅前広場」の整備(7月)

ユニバーサルデザインを取り入れた駅前広場として整備されました。誰もが安全に利用できるよう、タクシーや自家用車の乗降所とバスターミナルを別々に設置したツインロータリー方式とし、青地に白い文字を基調とした見やすく、分かりやすいサインや視覚に障害のある人に音声で所在地を案内するシステムなどを採用しました。施工中には、視覚に障害のある人や高齢者など住民参加による検証を行い、誰もが利用しやすい施設として整備されました。



「県立静岡がんセンター」開院(9月)

9月6日、静岡県のがん対策の拠点として駿東郡長泉町に開院しました。建設時に、実物大の病室で車いす使用者等に使いやすさの検証を行ってもらい、その結果を実際の病室に反映させています。また、院内から駐車場まで連続した導線上の段差解消をはじめ、エレベーター内のベンチ、左右使いやすい位置に掛けられるシャワーヘッドなど、様々なユニバーサルデザインが取り入れられています。



浜松市のNPOが「平成14年度バリアフリー化推進功労者表彰」受賞(9月)

NPO法人「福祉のまちづくり市民ネットワーク」が内閣官房長官表彰を受賞しました。行政への提案活動や、福祉マップの作成、学校への出前塾などが、ユニバーサルデザインの推進に寄与すると評価されました。

園芸が持つ様々な機能を検討

浜名湖花博の開催を控え、園芸が持つ様々な効用と、活用のための環境づくりが検討されました。11月にはシンポジウムを開催し、検討結果はその後のユニバーサル園芸の取り組みに引き継がれています。

“心のユニバーサルデザイン”の実践!

ユニバーサルデザインの推進には、社会基盤への導入とともに、誰もが参画できるイベントの開催やサービスの提供など、ハード、ソフト両面での実践が必要です。この年「NEW!!わかふじ国体」「わかふじ大会」での具体的な実践や、“心のユニバーサルデザイン”をテーマに職員向けのマニュアルを作成するなどソフト面の実践を働きかける事業を実施しました。

「しずおかユニバーサルデザイン推進委員会」に組織変更

「しずおかユニバーサルデザイン専門委員会」をユニバーサルデザイン講座の講師のほか、施策への具体的な助言を行う、「しずおかユニバーサルデザイン推進委員会」に組織変更しました。現在まで、しずおかユニバーサルデザイン行動計画2010に基づく県の施策の検証評価を実施しています。(委員長:川内美彦 一級建築士事務所アクセスプロジェクト代表)

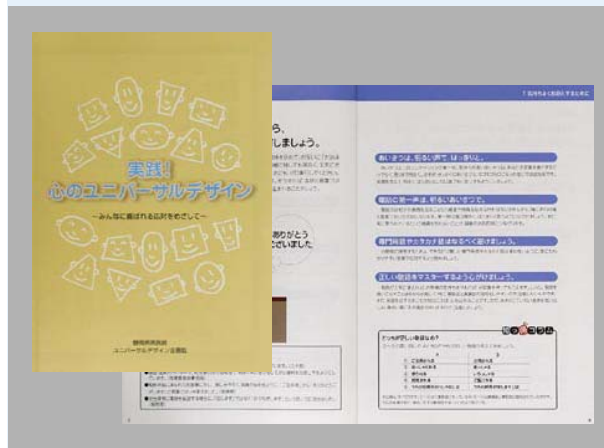
「みんなが喜ぶ宿づくり」作成

豊かな自然環境に恵まれた静岡県の観光地の旅館やホテル向けに、簡単な方法で準備できるUDルームの提案や低コストでできる施設改修、受付や食事の際のサービス方法など、実践的な導入事例をまとめたアイデア・ヒント集を作成しました。



「実践!心のユニバーサルデザイン」作成

高齢者、障害のある人、外国人など、誰もが県の窓口サービスをスムーズに利用できるよう、接遇や情報保障等についてのマニュアルを作成しました。また、全職員から来庁者への対応の実践事例を調査した情報をモデル事例として掲載し、職員により身近な実践集としました。



「第2回しずおかユニバーサルデザイン大会」開催

「見~つけたっ、優しい気持ち。みんなでUD発見団」をテーマに沼津市を会場に開催しました。幼稚園の取組事例の発表や「沼津駅北ユニバーサルデザインのまちづくり」ワークショップの発表などを開催しました。



<部局横断的に取り組む特定テーマ>

「実践ユニバーサルデザイン」

…「NEW!!わかふじ国体」「わかふじ大会」における実践

「事業に活かすユニバーサルデザイン」

「実感、心のユニバーサルデザイン」

「応援します、あなたのユニバーサルデザイン」

…市町村等の施設整備に関する国・県等の支援制度のガイドブック作成

「園芸もユニバーサルデザイン」

「どこへでも補助犬と」

…身体障害者補助犬の周知やマニュアルの作成

「検証・発展 ユニバーサルデザイン」

…しずおかユニバーサルデザイン行動計画の計画期間終了後の施策推進の検討



第58回国民体育大会

「NEW!!わかふじ国体」「わかふじ大会」開催

ハード・ソフト両面のユニバーサルデザインを実践する大会として、小笠山総合運動公園(エコパ)を中心会場に県内各地で開催されました。開催に当たっては「スポーツイベントにおけるユニバーサルデザイン事例集」を作成し、市町村や会場となる施設の関係者等に配布しました。各会場では、段差解消・車いす使用者用トイレ・音声誘導装置の設置された仮設トイレといった施設整備をはじめ、多くのボランティアによる来場者への適切な対応など、すべての人にやさしい大会運営に取り組みました。



大型スクリーンに写し出される手話通訳と要約筆記(エコバスタジアム)

次期行動計画に向けて、これまでの成果を情報発信

第1期行動計画の最終年度を迎え、新たな行動計画の策定に向け、有識者で構成する検討委員会での議論や県民からの意見・要望を取り入れるためシンポジウムなどを開催しました。2月には、新行動計画が策定されました。また、高齢者が日常的に感じている不便さを体験し、使いやすい製品について考える「こども体験教室」などを開催しました。

「次期行動計画」の策定

次期行動計画の策定にあたり、これまでのユニバーサルデザイン施策の検証・評価を行い、課題を抽出し、今後目指す方向性等を検討しました。有識者で構成する検討委員会を設置するとともに、多くの県民から意見や要望を取り入れるためシンポジウム等も県内各地で開催しました。



「私は停めませんキャンペーン」開始

「車いす利用者専用駐車場に一般の人が駐車して、困っている」との声に応え、車いす使用者がいつでも専用駐車場を利用できるように、必要のない人は「私は停めません」と宣言するマナーアップキャンペーンを開始しました。宣言した人には、車に貼るステッカーも配布しています。

「子ども体験教室」開催

小学5、6年生の約70人が、障害のある人や高齢者が日常的に感じている不便さを、カップ麺のパッケージを片手で開けたり、クリームを塗った手で瓶の蓋を開けたりしながら体験しました。

「第3回しずおかユニバーサルデザイン大会」開催

「ふれあって、輝く!」をテーマに浜松市で開催しました。海外から研究者を招聘し「米国のUD最前線」と題した基調講演やユニバーサルデザインファッションショーを開催しました。



「第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 (TRANSED2004)」開催

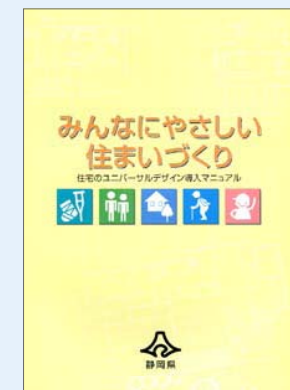
浜松市で、高齢者・障害のある人のニーズを考慮した交通環境整備に関するアジアで初めての国際会議が開催されました。初日には石川知事がユニバーサルデザインの基調講演を行いました。研究者や政策関係者、道路・交通の実務者、障害のある人など、世界から330名余が集い、同時開催の展示会や一般向けセミナーには合わせて3,500名が参加しました。



平成16年5月23～26日 浜松市

<部局横断的に取り組む特定テーマ>

- 「事業に活かすユニバーサルデザイン」
- 「私は停めませんキャンペーン」
- 「園芸もユニバーサルデザイン」
- 「発展ユニバーサルデザイン(次期行動計画の策定)」



「浜名湖花博」開催

浜名湖ガーデンパークを会場に「浜名湖花博」が開催されました。しずおかユニバーサルデザインを全国に発信する絶好の機会と捉え、会場づくりや運営面の双方でユニバーサルデザインを導入した誰もが楽しめるイベントとして、国内外から訪れた545万人をお迎えました。



新行動計画がスタート!

平成22年度までを計画期間とする新行動計画「しずおかユニバーサルデザイン2010」がスタートしました。102の数値目標に基づき、各部署の施策・事業をPDCAサイクルの手法で見直しながら改善するなど、常に効果的な施策の展開に努めています。

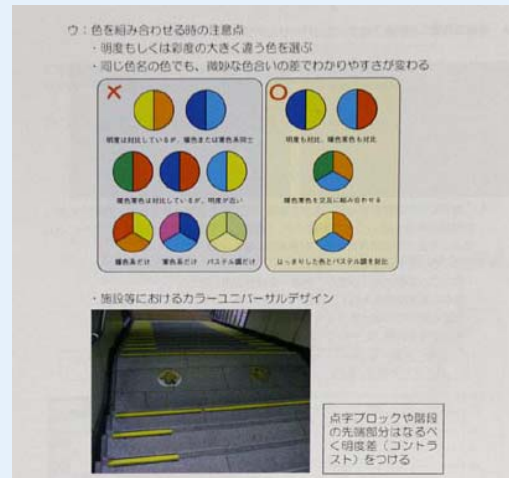
「みんなに使いやすいモノ展2005」開催

ユニバーサルデザインに配慮された日常生活で使われる製品を展示し「さわって、実感」する展示会を開催しました。県内外の企業49社に呼びかけ56点のユニバーサルデザイン製品を展示し、10日間の開催で約2,300人が来場しました。

「カラーユニバーサルデザインのための指針」作成

印刷物などを作成する際、色の見え方に差がある人に正しく情報を伝えるための注意点を「カラーユニバーサルデザインのための指針」にまとめました。

作成にあたっては、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構に監修をしていただきました。



「アドバイザー派遣事業」の実施

ユニバーサルデザインの導入を検討している県内企業や団体に専門家や実践者を派遣する「アドバイザー派遣事業」をスタートさせました。家具メーカーやホテルなどにアドバイザーが出向き、製品への導入や宿泊客への適切なサービスの提供方法などの相談に応じました。(17年度4団体、18年度7団体、19年度11団体 実施)



「第4回 しずおかユニバーサルデザイン大会」の開催

「みんなで楽しむしずおかの食」をテーマに静岡市で開催しました。食をテーマにした講演会やユニバーサルデザインのコンセプトに配慮したレシピの紹介を行いました。



「韓国ユニバーサルデザインセミナー」で講演

韓国のソウルアートセンター(ハンガラム美術館)で、静岡県のユニバーサルデザインの取組を講演しました。自治体レベルでユニバーサルデザインに取り組んでいることに、参加者から高い関心が寄せられました。



<部局横断的に取り組む特定テーマ>

- 「広報媒体(印刷物)のユニバーサルデザイン」…「カラーユニバーサルデザインのための指針」の作成
- 「誰にも分かりやすい案内標識」
- 「子どもへの普及」…出前講座や子ども体験教室の実施
- 「ユニバーサル園芸」

「誰にもわかりやすい案内標識」検討

観光客、ドライバー、外国人など、誰にでもわかりやすく地域にも調和した案内標識の統一化を図るため、検討会が開かれました。検討結果は平成18年度に「しずおか公共サイン整備計画」としてまとめられています。



市町村への情報提供を充実!

ユニバーサルデザインを県民生活に定着させるため、県内市町村の先進事例を紹介した「UDニュースレター」の創刊や視覚に障害のある人や高齢者、外国人も利用できる「音声(SP)コード」を付けた印刷物の普及など、市町村への情報提供に取り組みました。

「音声(SP)コード」導入

活字情報を音声情報として提供できる音声コード(SPコード※)を、県の発行する印刷物に導入するための検討を行いました。導入のためのマニュアルを作成し、県職員をはじめ市町村職員も対象にした説明会を実施して普及に努めました。

※SPコード:印刷物の活字情報を2次元コード化して印刷物に添付し、専用の機械で音声情報も提供できるようにしたもの。1つのSPコード(18mm四方)に約800文字を収録できます。



「UDニュースレター」創刊

市町村の取組状況を把握するため、伊東市など16市に聞き取り調査をした結果、「ユニバーサルデザインに関する情報が少ない」「何をやればよいのか分からない」などの意見が多く寄せられました。このため、県内の市町村が取り組んでいる施策や、企業・団体の事例などを紹介するニュースレターを創刊しました。第1号は浜松市や静岡市の取組事例を紹介しています。



「第5回しずおかユニバーサルデザイン交流フェア」開催

「暮らしを豊かにユニバーサルデザイン」をテーマに沼津市で開催しました。「がんセンターでのUDの取組」や犬による心の癒し、子どもたちへ遊びの場の提供など「健康」「ゆとり」「遊び」の中のユニバーサルデザインを子どもと大人が体験を通して考えました。



「みんなに使いやすいもの展2006」開催

ユニバーサルデザインに配慮した約50点の製品を展示し、触って実感する展示会を「ねんりんピック2006」のイベント会場内で開催しました。



韓国で開催されたユニバーサルデザイン講演会で発表

韓国釜山広域市と慶星(キョンソン)大学校(釜山広域市)から、ユニバーサルデザインに先進的な日本の自治体として招聘され、本県の取組を発表しました。



<部局横断的に取り組む特定テーマ>

「定着・実践のための市町村の取組促進」

…「UDニュースレター」などによる市町村への情報の提供

「誰にもわかりやすい案内標識」

「IT技術を作成した

すべての人にやさしいサービスの提供」

…県の印刷物へのSPコードの導入

「障害者の農業就業支援」

「ねんりんピック静岡2006」開催(10月)

60歳以上の人たちを中心としたスポーツ、文化、健康と福祉など幅広いイベントが県内18市町を会場で開催されました。施設などハード面に加え、誘導や案内などで“心のユニバーサルデザイン”によるおもてなしを実践しました。



エコパスタジアム(10月28日～31日)

連携の年。海外との交流も活発に

ユニバーサルデザインの取組が海外から注目を集めるようになり、韓国や台湾から7件の視察調査団を受け入れました。また、フランスの地方自治体職員の幹部職員研修所で、本県のユニバーサルデザイン施策についての講演を行いました。増加する海外から視察者向けに、英文ホームページの充実を図るとともに、韓国語ホームページを新たに公開しました。

フランス自治体幹部職員に講演

フランス自治体幹部職員研修所(モンペリエ市)等で、本県のユニバーサルデザイン施策の講演を行いました。障害のある人等への対応が施策の中心であったフランス自治体関係者から、高齢者や子育て中の家族等を含めたすべての人を対象とするユニバーサルデザイン施策に高い関心が示されました。研修所ではこの講演がきっかけとなり、ユニバーサルデザインが研修科目に採用されています。



「外国語ホームページ」の充実

増加する韓国からの視察に対応するため、ユニバーサルデザインの考え方や県内の公共、民間の事例を紹介する韓国語のホームページを開設しました。また、英文ホームページの事例を増加し、海外への情報発信を強化しました。

多言語パンフレット「みんなで進めよう!しずおかユニバーサルデザイン」作成

韓国や台湾など東アジア諸国からの視察団体等への説明に活用するため、日本語のほか、中国語の簡体字、繁体字、韓国語、英語、ポルトガル語の6言語で、最新情報を盛り込んだパンフレットを作成しました。

「第6回しずおかユニバーサルデザイン交流フェア」開催

「やさしいカタチ、やさしいキモチ、やさしいコトバ」をテーマに、浜松市で開催しました。視覚や聴覚に障害のある人も映画を楽しめるUD映画の上映やパネルディスカッションを行いました。



「ユニバーサルデザイン事例発表会」開催

ユニバーサルデザインの一層の普及と事業者の取組促進を図るため、行政、企業、NPO等の各分野の先進的な事例発表会を開催しました。県内の市町村のまちづくりや外国住民の地域行事への参加、企業の製品開発やユニバーサル園芸などの事例を発表しています。



「韓国・ソウル市立大学校インターンシップ」受け入れ

韓国のソウル市立大学校のインターンシップ学生を受け入れました。学生はユニバーサルデザイン理念や県内の導入事例などを研修するとともに、ホームページの韓国語訳にも取り組みました。

<部局横断的に取り組む特定テーマ>

- 「IT技術を活用した誰にもやさしい情報の提供」…ICタグやQRコードなどの調査、研究
- 「誰にもわかりやすい案内標識」
- 「障害者の農業就業支援」

「富士山静岡空港ユニバーサルデザイン導入研究会」開催

古瀬敏静岡文化芸術大学教授を座長に、障害のある人や老人クラブの代表などの委員による検討やヒヤリングを重ね、提案・報告書としてとりまとめました。

「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」開催(11月)

ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れた「第39回技能五輪国際大会」と「第7回国際アビリンピック」が「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」の名称のもと、大会史上初めて同時開催されました。大会では、実施運営や会場内外において、日本組織委員会・静岡県・静岡市・沼津市が連携して、障害のある人による喫茶サービスコーナー設置、民間宿泊施設へのUD導入、大会ハンドブックへのSPコード導入、UDマップ作成など、ハード・ソフトの両面でユニバーサルデザインが実践されました。



合同開会式(グランシップ)

住宅事業者が「平成19年度バリアフリー化推進功労者表彰」受賞(12月)

静岡市の住宅展示場「ユニバーサルデザインリフォームプラザ静岡」が、内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞しました。ユニバーサルデザインの考え方に基づいた住宅の建築・改築の提案や推進活動が評価されました。

韓国でテレビ放映

日本のユニバーサルデザインへの取組状況が、韓国のテレビで1時間番組として放映されました。番組では、本県行政や県内企業やNPOの取組が、大手企業とともに紹介されました。放送後、韓国からの視察調査団やインターンシップ学生の受け入れなど交流が多くなりました。



しずおかユニバーサルデザイン10年。世界へ発信!

ユニバーサルデザインに取り組み始めて10年という節目の年を迎え、9月には、石川知事がカナダで開催された「第9回世界高齢者団体連盟世界会議」で基調講演を行いました。さらに、10月には「台湾デザイン・エキスポ2008」への出展や国際シンポジウムを開催するなど、国内外に向けて情報発信しました。

モントリオール「第9回世界高齢者団体連盟世界会議」で知事基調講演

国内自治体から石川知事が唯一人招聘され、「ユニバーサルデザインで、誰もが暮らしやすい社会づくり」と題して基調講演を行いました。10年にわたる公共施設や県内企業の実践事例の紹介に、参加者からは高齢化の最先端にある日本の自治体が推進しているユニバーサルデザイン施策に高い関心が寄せられました。



台南市「台湾デザイン・エキスポ2008」出展・講演

台湾政府主催の「台湾デザイン・エキスポ2008」に出展し、ユニバーサルデザイン施策や公用封筒などの実践事例を紹介しました。馬英九総統も本県展示を視察しています。併催イベントとして、台北市で開催されたシンポジウムでは本県の10年間の取組について講演を行いました。



「しずおかユニバーサルデザイン国際シンポジウム」開催

しずおかユニバーサルデザインが10年を迎えることを記念し、県と静岡文化芸術大学との共催で、国際シンポジウムを開催しました。県内企業の事例発表やパネルトークに加え、ロン・メイス氏と活動を共にしてきた米国のメイスユニバーサルデザイン研究所のレスリー・ヤング氏の記念講演も行われました。



「第3回ユニヴァーサルデザイン国際会議」静岡県開催決定

誘致活動を展開してきた国際会議の本県開催(浜松市)が決定しました。会議では、世界各国からの研究者や専門家が基調講演や論文発表を行うとともに、最新のユニバーサルデザイン製品の展示会も開催される予定です。会議はこれまで、平成14年に横浜市、平成18年には京都市で開催されています。

「しずおかUDプラザ2008」開催

「暮らしをもっと楽しく!便利に!」をテーマに、ユニバーサルデザインの事業化と製品の利用を促進するため、県の施策や、先進的に取り組んでいる企業・NPO等の活動と実践事例を紹介する展示会を開催しました。



「コミュニケーション支援ボード」の活用

知的障害のある人や聴覚に障害のある人・外国人など、言葉によるコミュニケーションが取りづらい人たちのコミュニケーションの一助となる、話し言葉を絵によって表現した「コミュニケーション支援ボード」の活用説明会を、庁内および市町村・事業者・団体を対象に開催しました。また、本県オリジナルのボードを作成し、窓口業務担当部署や市町村に配布しています。県内鉄道事業者が窓口に設置したのをはじめ、コンビニでも利用されるなど、普及に向けて動き出しました。



「アイデアコンクール受賞作品」試作化

静岡文化芸術大学と連携し、平成20年度のアイデアコンクールの一般の部大賞作品「使いやすさを選べる洗面器」の模型を製作しました。車いす使用者や妊婦、幼児による、使いやすさなどの検証を行うとともに、UDプラザやシンポジウムなどで展示し、製品化に向けての可能性を検討しました。

<部局横断的に取り組む特定テーマ>

「みんなでコミュニケーション」…コミュニケーション支援ボードの活用検討
「発信!しずおかUD」…しずおかユニバーサルデザイン10年記念誌の作成
「わかりやすい公共サイン」

「富士山静岡空港」のユニバーサルデザイン導入

富士山静岡空港へのユニバーサルデザイン導入研究会の検討結果を踏まえ、身体障害者用駐車スペースや旅客ターミナルビルまで最短距離で段差のない構造とするほか、各駐車場の空き状況を常時表示する駐車場案内システムなどを導入しています。



屋根のある身体障害者用駐車場(奥側)



子育て部門で初の受賞

「平成20年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」(12月)

静岡市の「北極しろくま堂有限会社」と浜松市の「NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ」が内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞しました。安全に配慮した赤ちゃん用抱っこひもの製造、行政情報と地域情報の提供など、子育てのユニバーサルデザインに寄与していることが評価されました。